

より利用しやすい 図書館を目指して

たくさんの本や情報が集まり、私たちの知識を豊かにする場として親しまれている図書館。インターネットの普及などにより、多くの情報を得られるようになった今、図書館の役割が見直され始めています。今回の特集では、これまで図書館が担ってきた役割を振り返るとともに、皆さんに活用してほしい図書館サービスや、4月にリニューアルする中央図書館を紹介。札幌の図書館が目指すべき姿に迫ります。

この特集に関する問い合わせは、中央図書館管理課 ☎512-7330



図書館・図書室のあゆみ — 気軽に本に触れられる環境づくり —



【昭和25年～】各区に図書館・図書室ができ、本がより身近に

札幌で最初の市立図書館は、昭和25年に時計台の中に誕生。その後、誰もが利用しやすい身近な学習施設として親しんでもらえるよう、地区図書館や図書室を整備していきました。



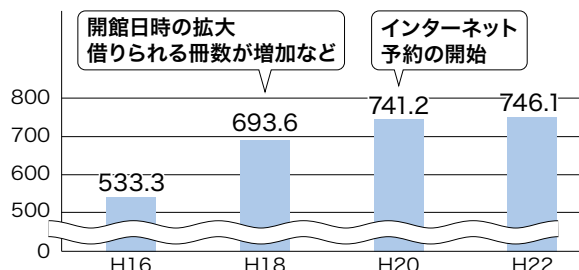
【平成18年～】サービスを見直し、貸し出し機能を充実

開館日時の拡大や、地下鉄大通駅に図書の貸し出しや返却ができるカウンターを設置したほか、平成20年にはインターネット予約も開始。より本が借りやすい環境になり、貸し出し冊数も増えていきました。



↑時計台内に開設された、市立札幌図書館での蔵書一斉点検の様子。蔵書数は約13,000冊でした

■貸出冊数の変化(単位:万冊)



図書館・図書室の今

ー必要とする情報を伝えるためにー



市の図書館・図書室の数は45施設となり、蔵書数は250万冊を超えました。図書館には、本を読んだり借りたりするほかにも、来館した方が求めている情報を探し出し、膨大な蔵書の中からの的確な資料を案内するという役割もあります。インターネットの普及などにより情報量が増えていく中、図書館はこの役割をさらに充実させていきます。



活用しよう!

市の図書館で行っている便利なサービス

調べもののお手伝いをします

レファレンスサービス

図書資料やデータベースを駆使し、相談に来た方と会話をしながら、希望に沿う資料を案内します。窓口だけでなく、電話や手紙でも相談できます。

[4月2日(水)からはインターネットでの受け付けも開始
ホームページ www.city.sapporo.jp/toshokan/reference/mailref/top.html]

司書にレファレンスサービスの
魅力を聞きました



中央図書館司書 さいさん

日常の素朴な疑問や仕事に関することなど、さまざまな質問を受けています。地域の情報にも強く、町内会の記念誌の作成や、講演会を頼まれた方が資料を求めて来館することも。図書館は数十年前の本や雑誌、新聞などの過去の情報も蓄積しており、インターネットでは調べられない情報もありますので、ぜひ利用してくださいね。

例えば

こんな質問に答えています

問. 雪まつりの観客数が知りたい

答. 新しいものであれば「平成25年度版札幌〇〇」に、古い記録であれば「さっぽろ雪まつり〇〇」という資料があります など



市外の図書館からも借りられます

図書の取り寄せサービス

市の図書館・図書室に所蔵していない本で、他の図書館にある場合は、取り寄せることができます。まずは図書館・図書室の窓口で相談を。



札幌市の図書館



道内・道外の市町村や大学の図書館

中央図書館では国会図書館のデジタル資料が見られます

国内の全ての出版物を保存する国会図書館。そこでデジタル化した資料のうち、今では絶版となった資料など約130万点を館内の端末で見られます。

図書館の本やCDなどの予約ができます

インターネット予約サービス

貸し出し状況の確認や、本を受け取る図書館の指定などもできます。

3月24日(月)からは検索する言葉の入力がしやすくなる「かんたん検索」が始まるほか、スマートフォン専用ホームページも開設します。

利用するには、事前に図書館・図書室でのパスワードの発行が必要です

本により親しんでもらうための行事も開催

絵本の読み聞かせや朗読会・講演会などを開催。子どもから大人まで楽しく学べる催しを行っています。



↑本を使ってヒグマの生態を学ぶ講座に子どもたちは興味津々

他にも催しがたくさん!

- 一日司書体験
- さっぽろ家庭読書フェスティバル など

次のページでは、市の中核的な図書施設である中央図書館のリニューアル情報を紹介!

4月2日(水)から

中央図書館が さらに便利に!

85万冊以上の蔵書数を誇る中央図書館が、4月2日(水)に館内のデザインや本の配置を一新してオープン。これまで以上に気軽に本に親しみ、快適な時間を過ごすことができる空間に生まれ変わります。



〈利用案内〉

開館時間 月曜～金曜9時15分～20時

土・日曜、祝休日9時15分～17時

3/1(土)～4/1(火)は改修工事のため休館

所在地 中央区南22西13

問い合わせ ☎512-7320

リニューアルのポイント

木のぬくもりあふれる空間に

館内を藻岩山に連なる「本の森」に見立て、木のあしらいを随所に施し、ロビーにある、森をイメージした「元気カフェ」との一体感を演出します。

借りられる本を1階に集約

これまで2階にあった、歴史や社会科学などの一般書を1階に集めて借りやすくします。2階は調べものの中心のフロアになります。

館内の蔵書検索機が使いやすく

より幅広い項目で蔵書の検索ができるようになるほか、本の表紙画像や配架されている場所が分かる図を見られるようになります。



个入り口付近のイメージ。木をふんだんに使ったおしゃれな空間になります

森の中で本を
読んでいるような
気持ちになれるよ



図書館キャラクター
ヨムくん

図書館や本の楽しみ方を広げる活動も!

図書館を拠点に、地域のために活動している市民の方にインタビューしました



中央図書館で行われた講座がきっかけで、声と言葉で昔話の世界を伝える「語り」を始めました。心を込めて語ると、子どもも大人も夢中になって聞いてくれます。図書館は、「語り」のための本を借りたり、資料を探したりするために欠かせない場所。これからも語りを通じて図書館や読書の大切さを伝えていきたいです。

語りのボランティアグループ「札幌おはなしの会」で活動する 榎本 陽子さん



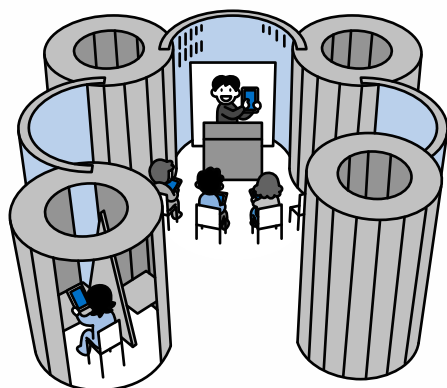
个語りを披露する榎本さん。中央図書館をはじめ、小学校などでも活動しています

もっと使いやすく、快適に 図書館に行く楽しみが増える新しいコーナーも！

1階

電子書籍に触れられる 「電子図書館コーナー」

木で囲まれた空間の中で、電子書籍を楽しむことができます。合わせて6台のパソコンやタブレットが設置され、小説や雑誌を含む約2,000点を読むことができます。



札幌の歴史や文化が
分かる本もあるよ



1階

表紙が一目で分かる 「雑誌コーナー」

スポーツやファッションなど、約200種類の雑誌の表紙が壁一面に並びます。気に入った表紙を見つけて読んでみると新たな発見があるかも。



2階

持ち込んだパソコンを 利用できる「キャレル席」

館内の本を見ながら自分のパソコンを使い、資料を作成したいという声に応え、コンセント付きの座席を12席設置。個別に仕切られており、集中して作業ができる空間になります。原則、2時間まで利用できます。



2階

「レファレンスカウンター」が より相談しやすい環境に

相談スペースをフロア奥に設置し、より静かで落ち着いた雰囲気の中で相談できます。また、カウンターの近くに新たに設置される書庫から必要な資料を見つけ出しやすくなり、相談に来た方への情報提供のスピードが上がります。

市民の役に立つ 図書館を目指して

図書館は新しい知識や世界を知る楽しさを感じられる場所。これからも、市民の皆さんの学びを支えるとともに、新たな活動が生まれるきっかけとなるよう、「知の拠点」として多くの人の役に立つ図書館を目指していきます。この機会に図書館の魅力に触れてみませんか。

図書館の新たなサービスや今後設置予定の図書館に注目！

より便利になるよう、さまざまな取り組みを進めていきます。

平成26年 夏ごろ～	記名 ^{サピカ} SAPICAに貸出券の機能を付加
平成26年 秋ごろ～	電子書籍の貸し出しを開始
平成28年 ころ	白石区役所などの移転に合わせ、新庁舎内に「(仮称)絵本図書館」を設置
平成30年 ころ	北1西1に建設予定の(仮称)市民交流複合施設内に「都心にふさわしい図書館」を設置



个「都心にふさわしい図書館」のイメージ

中央図書館以外の図書施設も休館します

システム更新のため、蔵書検索システムが停止し、地区図書館、大通カウンターなども休館します。休館中の本の返却は返却ポストをご利用ください。

休館期間 3/17(月)～23(日) (地区センターは24(月)まで) 蔵書検索システムの停止期間 3/16(日)20時～24(月)12時